

コロナ禍における 中小企業の資金戦略

垂統塾

陽明学者の安岡正篤氏は「経営者の一番重要な仕事は、後継者に創業者の思いを正しく伝えること『創業垂統』』とっております。

法人会の原点は、国が納税額を決める賦課課税制度から自分で納税額を計算する申告納税制度の普及にありました。そこで埼玉県連では創立60周年記念事業として、事業承継を重要な経営課題として認識していてもその解決に着手していない会員企業を救済するとともに、法人会をこれから担っていく次世代の法人会幹部の養成と人的ネットワーク作りを目指して、本セミナーを開催してまいりました。

現在「創業垂統」から「継対守分」と、コロナ禍において創業者がつくった組織をいかにしっかり守り、事業継続していくかが重要なポイントとなっております。

そこで、今年度はコロナ禍で事業を継続していく上で皆さまの関心の高い資金繰り対策をテーマにセミナーを開催いたします。

垂統塾の卒業生も対象となりますので、ご興味のある経営者の方々は奮ってご応募ください。

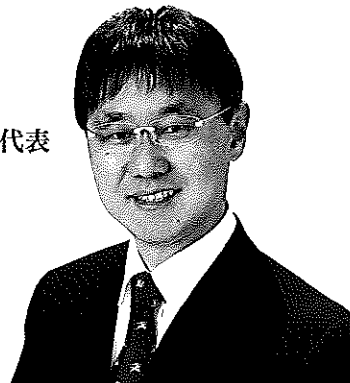
開催日時

令和3年9月から11月までの
各月1回 18時30分～20時30分(全3回)

受講費用 無料

講師

齋藤戦略会計事務所代表
税理士
さいとう やすまさ
齋藤 安正氏
関東信越税理士会
浦和支部所属



<経歴>

昭和47年群馬県高崎市生まれ
早稲田大学法学部卒業
早稲田大学商学研究所MBAコース修了
平成8年あさひ銀行(現りそなグループ)入社後、16年以上にわたり下記銀行業務に従事
・都内、埼玉県の支店における中小企業・個人の融資業務
・事業承継対策支援業務
・本部企画セクションにおける法人部門の人材育成(研修)業務
銀行業務に従事しながら税理士資格取得
銀行退職後、都内税理士法人にて一般税務・コンサルティング業務に従事独立後「齋藤戦略会計事務所」設立

今回で8回目になるおなじみの垂統塾の専任講師、激化する税制の中で実務経験に基づいた最新の事業承継情報をお伝えすべく、講義内容を刷新してお待ちしております。

プログラム

- 第1回 9月開催 ●非常事態を生き抜くための中小企業の財務戦略
- 第2回 10月開催 ●コロナ禍における現預金の管理手法と営業戦略
- 第3回 11月開催 ●元銀行員が教えるコロナ禍以降の銀行取引と資金調達

※あくまで現時点でのカリキュラムであり、今後のコロナ禍の状況や講義直前の金融動向などにより多少の変更がありますことをご了承ください。

会場

県内東西南北各ブロック毎1会場の
合計4会場(詳細は各回開催案内に記載)

募集人数

各会場20～30名
(各単位会5～6名程度)

応募条件

各単位会の会費を完納している法人会員
(原則として正会員とする)

■スケジュール

| | 第1回 | 第2回 | 第3回 |
|-------|----------|-----------|-----------|
| 東ブロック | 9月 7日(火) | 10月 5日(火) | 11月 9日(火) |
| 西ブロック | 9月 9日(木) | 10月 7日(木) | 11月11日(木) |
| 南ブロック | 9月14日(火) | 10月12日(火) | 11月18日(木) |
| 北ブロック | 9月16日(木) | 10月14日(木) | 11月22日(月) |